

2026年4月27日
三和エネルギー株式会社

【災害対応強化】 配送拠点外エリアを想定した

初動対応部隊研修を実施

— 新潟県の株式会社トカンと連携し、広域燃料供給体制を強化 —

三和エネルギー株式会社（所在地：神奈川県横浜市、代表取締役社長：高松克行）は、2026年3月26日（木）～28日（土）の3日間にわたり、柏デリバリーセンターにて災害時燃料供給体制の強化を目的とした「初動対応部隊研修」を実施いたしました。本研修では、新潟県に本社を置く株式会社トカンとの連携のもと、当社配送拠点外エリア（新潟県）における対応を想定し、実践的な訓練を行いました。

当日は、三和エネルギーからドライバー5名・講師3名、株式会社トカンからドライバー2名・見学者2名が参加し、実務を想定した訓練を通じて広域連携体制の強化を図りました。



当該訓練参加メンバー/三和エネルギー柏デリバリーセンター

■ 研修実施の背景

近年、地震や台風など大規模災害の頻発により、企業の事業継続計画（BCP）における燃料供給の重要性が高まっています。一方で、災害発生時には道路状況や拠点被災などにより、通常の配送体制が機能しないケースも想定されます。このような状況に対応するため、

当社では自社拠点に依存しない広域的な燃料供給体制の構築を進めており、その一環として本研修を実施いたしました。

■ 研修内容

本研修は3日間にわたり、座学から実技、試験まで一貫して実施しました。

- ・初動対応部隊としての心得（座学）
- ・インタンク実技訓練
- ・瀬取り訓練
- ・実技試験（技能確認）

現場対応を想定した実践的な内容とし、単なる知識習得にとどまらず、実務レベルでの対応力向上を目的としています。

■ 本取り組みの特長

本研修は、配送拠点外エリア（新潟県）における燃料供給を想定し、提携先企業との連携を前提とした実践的な訓練である点が特長です。

このような広域連携を前提とした燃料供給訓練は、当社調べでは業界内でも珍しい取り組みになります。



■ 参加企業コメント（株式会社トカン）

「座学と実技の両面を通じて、『救助する側が事故を起こしてはならない』という強い理念を随所に感じました。研修資料や安全管理、現場対応の仕組みはいずれも精度が高く、非常に実践的な内容でした。また、他社との連携を前提とした訓練は大変有意義であり、今後も積極的に参加していきたいと考えています。」

■ 広域連携による供給体制の強化

自社拠点のみで完結する体制ではなく、外部パートナーと連携することで、被災エリアや遠隔地においても燃料供給を可能とする体制構築を進めています。これにより、従来対応が難しかったエリアにおいても、迅速な燃料供給が可能となります。

■ 研修成果

本研修を通じて、参加したドライバーは初動対応部隊としての基準を満たし、所定の試験に合格いたしました。これにより、災害発生時における即応体制の強化が図られました。

■ 今後の展望

今後も当社では、災害時における燃料供給の重要性を踏まえ、全国規模での供給ネットワーク構築と人材育成を進めてまいります。また、株式会社トカンをはじめとした提携先企業との連携をさらに強化し、より実効性の高い災害対応体制の確立を目指してまいります。

■ 当社概要

商号：三和エナジー株式会社

代表者：代表取締役社長 高松 克行

本社事務所所在地：神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-15 新横浜センタービル 5 階

設立：1967 年 12 月 22 日

資本金：9,000 万円

URL：<https://sanwa-energy.com/>

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

三和エナジー株式会社

担当：EESS 事業部

TEL：045-548-8838

FAX：045-548-6638

営業時間：平日・土 8 時～17 時